

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

SMBC プライベート投資法人（証券コード：ー）

【新規】

長期発行体格付
格付の見通し

AA－
安定的

■格付事由

- (1) 20 年 12 月に設立された非上場のオープン・エンド型投資法人。オフィスビル・商業施設・住宅・物流施設を主な投資対象とする総合型リートであり、21 年 3 月に運用が開始された。資産運用会社である SMBC リートマネジメントのスポンサーは三井住友銀行（出資比率 80%、以下 SMBC）、SMFL みらいパートナーズ（同 20%、以下 SMFLMP）となっている。SMBC グループ初の総合型 REIT として、投資家の長期安定運用ニーズに応える新たな投資機会を提供し継続的な成長を目指すことを基本方針としている。
- (2) 運用開始以降、定期的な増資を交えながら資産規模は拡大しており、外部成長のスピードは比較的早い。今後においてもスポンサーグループからの拠出、サポート会社からのソーシング案件、スポンサーグループの顧客からの CRE・不動産売却ニーズなどパイプライン候補物件は積みあがっており、継続的な外部成長とともに物件・テナント分散が図られていくことが想定される。財務面では三井住友銀行を中心とした強固な財務基盤と方針に即したレバレッジコントロールがなされるなど健全な財務運営が確認できる。以上を踏まえ、格付を「AA-」とし、見通しは安定的とした。
- (3) ポートフォリオ全体の稼働率は運用開始からおおむね 97%以上の高水準が維持されるなど安定した運営が行われており、物件特性に応じた PM 会社選定やスポンサーグループの幅広い事業領域を活用した戦略的なリーシング力が発揮されているものと評価している。また、不動産運営管理の相応な実績を有し、SMFLMPの子会社でもあるマックスリアルティーに一部業務を委託しており、運用業務に関し十分なサポートを享受している。今後も、スポンサーグループが有する不動産事業の知見およびノウハウが、本投資法人の安定した運営の下支えになることが想定される。
- (4) 本投資法人では、各期の払戻対象口数を原則として発行済投資口数の 2.5%に制限することで、LTV が大幅に上昇するリスクを抑制している。総資産ベースの LTV は、直近の増資後は 40%後半まで上昇しているものの本投資法人の巡行水準でコントロールされている。レンダーフォーメーションについてはスポンサーである三井住友銀行を中心とする 15 金融機関となっており、金利動向に注視した調達がなされるなどコストマネジメントにも配慮する取り組みも確認できる。総じて、足元の財務運営に特段の懸念はないものの、JCR では今後の LTV コントロールの推移に注目していく。

（担当）秋山 高範・古口 雄介

■格付対象

発行体：SMBC プライベート投資法人

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA－	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 10 月 3 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：涛岡 由典
主任格付アナリスト：秋山 高範
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017 年 7 月 3 日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) SMBC プライベート投資法人
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル